

# すき♡スキ♡大好き

No.68

ながさき子ども劇場 高学年例会【地元企画】

2025年4月26日(土) 18:30開演

メルカつきまちホール



低学年例会

2025年5月10日(土) 15:00 開演

メルカつきまちホール



ながさき子ども劇場 広報部

〒850-0057 長崎市大黒町 4-26 北村第一ビル 303 号

Tel : 095-825-0533 Fax : 095-825-6151

E-mail : [sukisuki@bird.ocn.ne.jp](mailto:sukisuki@bird.ocn.ne.jp)

<http://www.na-kogeki.sakuraweb.com/>

発行 2025年4月26日

### 〈目次〉

1. 巻頭エッセイ
2. 高学年例会「あざみ子ども寄席」
3. 低学年例会「カボとピノ」
4. 劇場バザー
5. 高学年春キャンプ 🏕️
6. 県内高校生青年交流合宿
7. 春のディキャンプ
8. 乳幼児部「クッキー」 🍪
9. 県連学習交流企画「西上さんを囲んで」
10. 九連 2025 例会打合せ会
11. 絵本のとびら
12. 編集後記

### あなたの手

東長崎ブロック 田中 尚美

家では出来ない事を経験できる素敵な時間♡  
キャンプをしたりイベントしたり、  
普段関わる機会がないお兄ちゃんお姉ちゃんとも遊べる貴重な時間♡  
子ども劇場に出会えてよかった。  
私にとっても娘にとっても今では大好きな場所になりました。  
教えてくれてありがとう。



「だいじょ〜ぶ〜？」と、泣いてるお友達を励ます小さな優しい手。  
「タオルたためるよ〜」と言って洗濯物をたたんでくれる素敵なお手てになったね。  
「だっこだっこ〜」って言うてくるのもいつまでかな？  
いいよ。いっぱいだっこするよ。ギュ〜もするよ。

生まれた時は、折れちゃうんじゃないかな？と思うくらいあんなに小さかった手が、  
いつの間にかこんなに大きくなってたな。  
あと何回この手を繋いで一緒にお出かけできるのかな？

新しい制服に身を包んでもうすっかりお姉ちゃんになった娘。  
だからこそ、今のこの瞬間瞬間がとっても大事な宝物。  
新しい場所や人に出会いながら、優しくて強くて愛いっぱいの手これからもなっていってね。

# 舞台鑑賞

★4月例会★

5月 高学年例会

地元企画

芸能

## 「子ども寄席」

長崎あざみ落語会

2025年4月26日(土) 18時30分開演(15分前開場) メルカつきまちホール

### 長崎あざみ落語会って?

長崎あざみ会は、九州大学落語研究会OBと長崎大学落語研究会OBが中心となって結成したアマチュア落語会です。秋に長崎市内で「長崎あざみ寄席」を開催しています。また、各自で全国の落語の大会に出場するなど積極的に活動しています。



九州大学落語研究会 30 期。  
長崎市出身。  
長崎あざみ落語会の発起人かつ、  
まとめ役。



長崎大学教育学部(音楽専攻)卒。  
ピアノの勉強で大学に行ったはず  
なのに、卒業する頃には三味線弾き  
になっていました。



九州大学落語研究会 31 期。  
佐賀県出身。  
趣味は野生のキノコ観賞。

※本日は上記以外に 1~2 名の出演を予定しています。

上演時間・・1 時間

### 次回例会

終演後に、  
落語体験ワークショップ  
があります。

(希望者のみ)



<低学年・高学年合同>  
9/27(土) 18:30 開演  
メルカつきまちホール



『イノシシと月』

# 舞台鑑賞

★5月例会★

5月低学年例会

## カボとピノ

併演 はらぺこ ブー

人形劇 人形劇団 ココン

人形劇

2025年5月10日(土) 15:00開演(15分前開場) メルカつきまちホール

### KABO & PINO

### ～手づかい人形劇～

お

は

な

し

【作・演出・美術】山田俊彦

【音楽】八幡浩暢 (0039.com)

【キャスト】山田俊彦、府金総太

架空の国に住む兄弟のある1日。

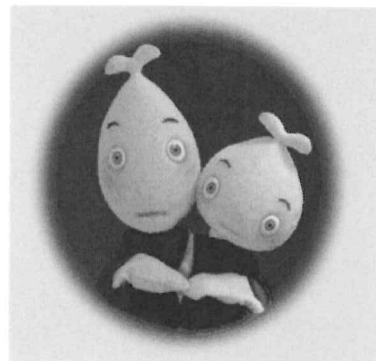
弟のピノは、お兄ちゃんのカボと同じことをしたくてたまりません。

「ぼくだってできるもん」とカボの真似をしようとします。

輪投げ、玉乗り、魚釣り、高いところから飛び降りたり、カボの帽子を欲しがったり。

カボに「ムリだって」と言われると、ピノは「ムリじゃないー」と行動が激しくなって。真似どころかとんでもないことが起こります。

気がやさしくて慎重なカボと負けず嫌いで調子乗りのピノのお話。



上演時間：45分



### 併演 はらぺこ ブー

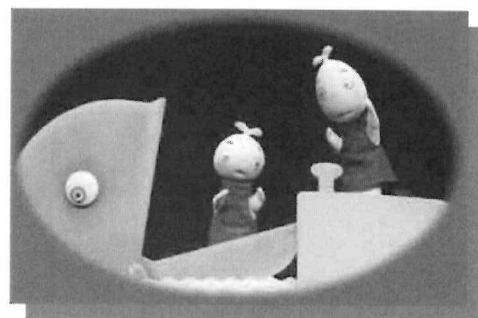
【作・演出・美術】山田俊彦

上演時間：15分

おじさんが人形劇を始めようとする  
と、どこからかおなかの鳴る音が。  
箱を開けるとブタのブー。

おいしいものを探すけれど、見つかるかな？

箱から出て、おいしいものを自分で探しに行こうよ。



### 次回例会

★低学年・高学年合同例会★

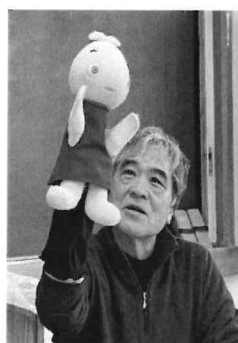
### 『イノシシと月』



2025・9・27(土)  
18:30開演  
メルカつきまちホール

人形劇  
ココン

“ココン”はフランス語で繭(まゆ)のことです。  
この繭から色んな世界を生み出しています。  
目の前で広がるココンワールドをお楽しみく  
ださい。主に、ひとり芝居の人形劇を上演して  
います。



代表 山田俊彦



# にっこりホットな劇場バザー2025

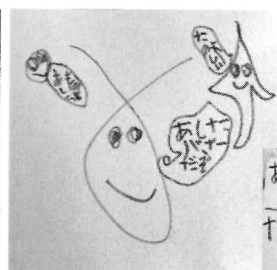
2025.3.9(日)  
長崎市民会館前魚の町公園&地下展示ホール

三寒四温のこの時期、バザーの日だけはすごく天気恵まれてラッキーでした。売り物の品数は年々減ってきているようで売上げが心配されましたが、目標額20万を立てており、結果 178,063 円の収益を計上しました。

ブロックでのゲームコーナーでは、子どもたちが遊び方の説明をしてくれたり、親子でお店番をしたりして積極的な参加がみられました。東長崎ブロックの S 君はバザーが楽しみ過ぎて絵を描いてくれました。

青年企画の謎解きは大人も交えての盛り上がりで、子どもたちに好評でした。

お菓子や惣菜など食品作りにご協力いただいたみなさんありがとうございました。



# 高学年春キャンプ



今年も恒例の新入生歓迎企画「高学年春キャンプ」を3/15.16(土.日)の1泊2日で実施してきました。

今年は歓迎される新入生として新中学生が4名、新高校生が1名、新青年が1名の計6名、そして歓迎をする側として新中学2年生が1名、新高校3年生が1名、青年が2名の計4名、合計10名のメンバーで三和の少年交流センターへ乗り込み新入生を盛大に歓迎して来ました！

しかも、嬉しい事に春キャンプに参加したいからと劇場に入ってくれた新中学生が1人いるとのことで実行委員達は大喜び上がり、祝うぞ祝うぞと意気込んで実行委員会を重ね準備を進めて行きました。

昨年に引き続き少人数での実施で、しかも当日は朝からずっと雨が降り続きどうなる事かと不安がありましたが、そこは今まで何度もキャンプを経験してきた劇場の子どもたち、雨を吹き飛ばすほどの元気で2日間を遊びまくっていましたね。

今年は数年ぶりに「1品持ち寄り」を実施！

市販品を買ってくる子や自分で作る子、親に作ってもらった子とそれぞれに特徴があり、各家庭の味を堪能しながらみんなでワイワイ昼食！花見をしながら食べられなかったのだけが悔やまれますねえ(><)

今回、雨により室内企画多めの春キャンプでしたが、嘘つきを当てたり椅子取りゲームをしたり、夜ふかしのお供争奪ジャンケン大会をしたり、絵を描きまくったりと企画尽くしだったうえ、途中30分ほどの雨の切れ目に思いっきり外で遊ぶこともでき、夜は普段する事が出来ない夜更かしをしてみんなでワイワイと大盛り上がり！朝からは劇場ダンスを踊りまくるなど盛り沢山の春キャンプとなりました(≡▽≡)

少人数でしたが、だからこそその濃密な2日間を体験し、みんながどんどん仲良くなっていき、劇場初参加の新中学生の子もすぐ馴染んでいるのをみて、みんな凄いなあと密かに感動…。

来年の春キャンプも今から楽しみにしてきた今日この頃…次はどんな祝い方をしようかな？とワクワクが止まりませんね！

また来年も祝うぞ～！(\*òωó)ノ おー (実行委員長 増田 洸)



# ★県内高校生青年交流合宿

日時：2025年3月21日(金)19:00～23日(日)12:00

場所：波佐見町小樽郷「美呆閑」

対象：新高校生以上

|     | ながさき | 佐世保 | 諫早 | 合計 |
|-----|------|-----|----|----|
| 高校生 | 3    | 3   | 2  | 8  |
| 青年  | 4    | 1   | 4  | 9  |
| 合計  | 7    | 4   | 6  | 17 |



【今回のテーマ】「たい！」

あそびたいっ！ はしりたいっ！ あいたたいっ！ うたいたたいっ！  
はなしたたいっ！ わらいたたいっ！ つくりたいっ！



今年第7回となる「県内高校生・青年交流合宿」を3/21.22.23(金.土.日)の2泊3日で実施してきました！

ながさきからは高校生3名(新高校生1名)・青年4名(新青年2名)・大人2名、諫早からは高校生2名(新高校生1名)・青年4名・大人1名、佐世保からは高校生3名(新高校生2名)・青年1名(新青年1名)・大人1名の総勢21名で波佐見町にある美呆閑というところで交流を深めて来ました。

さあこんな豪華な交流のオープニング(OP)を任せられたのは我らがながさき。昨年の事もあり、なぜかハードルが上げられる上げられる…(´・`;)だがしかし！高校生達はなんのその、トータルの打ち合わせ時間50分程で素晴らしいOPを仕上げてくれました(\*´o`ノ〃ﾊﾟﾁﾊﾟﾁ

当日は19時集合という事もありOPが終わったあとは自己紹介と夕食、自由時間という事で大きな企画もなく2日目へ

寝不足の人が多く午前中はゆったりと過ごし、お昼からは近くの公園に行き県交流企画の「人狼鬼ごっこR」と「マジだるまさんがころんだ」(勝手に命名)を実施し、寝不足の身体に鞭打ってみんなで走り回りました(≧▽≦)

また紅白(男女)に別れての紅白歌合戦(カラオケ大会)や、佐世保企画の食料争奪クイズ大会等企画盛り沢山！

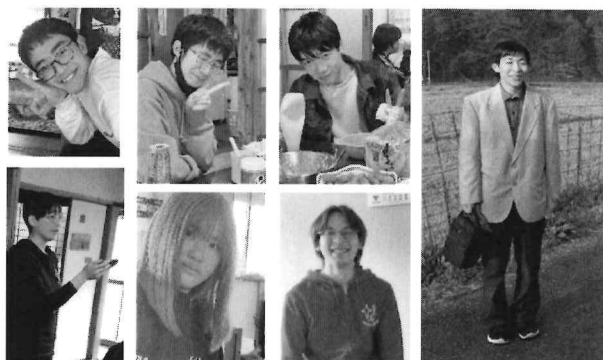
夜は1日目に続き夜更かししてボードゲームをしまくったり話しまくったりと心ゆくまで交流してきました(´ロ`)

3日目は帰宅前の片付け！来た時よりも美しくの精神でみんなで協力しながら掃除、片付け、残り物配布等しっかり綺麗に出来ました☆

2024年の9月から準備してきた今回の県交流、大きな怪我もなく無事に3日間ガッツリ交流でき、参加していた高校生からも「来年も部活休んででも行く」との声も上がりましたし、来年の県交流はどんな形になるのかな？どんな事をしようかな？ともうワクワクしてしまってますね(っ´ω´c)

さあ、高校生・青年のみんな、来年も元気に乗り込むぞ！(´・`ロ´´)s{ウオー

(青年・増田 光)



新高校生を迎えて行った県内合同での合宿。高校生も含めて実行委員会を重ね、各子ども劇場で役割や企画を分担する形での2泊3日。

高校生も青年も忙しい中、来る途中の車の中で相談しほぼ即興に近いオープニング。昨年のリベンジをかけていろいろ工夫した食料争奪戦のクイズ。誰が鬼なのか動き始めるまでドキドキ。急に走り出してから勝負の人狼鬼ごっこ、カラオケ紅白歌合戦など。

ゆったりと流れる時間の中で、初めて会った人たちも自然にみんな仲良くなっていった感じがしました。

自己紹介の時に自分は人見知りと言っていた新高校生が、帰りの車の中でも家に帰ってからも楽しかったことをしゃべり続けていたと聞きました。

寝る間も惜しんでおしゃべりしていたのに、まだ時間が足りなかったという感想もありました。楽しい時間が過ぎるのは早かったのかもしれない。

進級・進学、春、緊張や不安、期待もあるこの時期に自分たちがやりたいことを思う存分できたこと、また県内での新しい高校生同士の出会いは互いに元気をもった貴重な経験だったのではないかと思います。

そして、見守りながら自分たちも楽しんでいる青年の姿も子ども劇場らしいと感じました。

(高学年部長・田口)



# 春のディキャンプ

3月30日(日) 長崎市民の森

参加者

大人…30名(男10名、女20名)

子ども…30名

会員外…2世帯

メニュー…飯盒炊飯、カレー、竹焼きパン、マシュマロ焼き

ちょっと肌寒い中でしたが、釜戸に火を起こしたり、野菜を切ったり、みんなで手早く準備しました。釜戸で美味しく煮込まれたカレーは本当に絶品！竹焼きパンは相変わらずの人気の「アチアチ！」と言いながら頬張る姿があちこちで見られました。

食後は広場で青年の協力を得て『しっぽとり』や『ケイドロ』に夢中になり、大人も子どもも一緒にたくさん走り回って楽しみました。満開の桜の下、春の訪れを感じるにぎやかな1日となりました。



お母さん・お父さんの積極的なご協力のおかげで、円滑に進行できたキャンプでした。ありがとうございました。今後もキャンプなど自主活動部の企画にぜひご参加ください。

(自主企画部 今井 春美)



# 乳幼児部 クッキー

## クッキーひろば

毎月1回 日曜日 10:30~14:00  
諏訪小学校・学校地域交流センター  
※日や会場は事前にご確認ください

### \*2/16(日)寒天ゼリーで感触あそび



なかなかお家ではできない感触あそびをクッキーひろばでチャレンジ!!  
タッパーや紙皿に固めたピンク、黄色、緑色のゼリーを野菜型やクッキー型で型抜きしたり、中から動物フィギュアを掘り出したり、透明カップにスプーンですくって、オリジナルのキラキラゼリーを作ったりしてあそびました。  
最後は一人ずつ傘袋に入れて、みんなでつないだらカラフルヘビの出来上がり!!  
これまた、へびの感触もぐにゅぐにゅで楽しかったです。今度はどんな感触あそびができるかな?



### \*3/16(日)卒業おめでとう!! なにかやろうよ クッキーVer.



毎年3月のクッキーひろばはクッキー卒業式です。今年は8名が卒業しました。

過去最多の世帯数で活動した今年度でしたが、最後はお兄さん、お姉さんも参加してみんなができること、やりたいことの一芸披露の発表会です。アンパンマン体操や親子できめきめのダンス、姉妹雑技団?も登場したりしてみんな頑張りました。お家ではできていてもいざ本番になると、あれ~!?いつも通りにはいかないところが乳幼児さんのかわいいところ。

発表が終わった人から、デコレーションたっぷりの大きなケーキにシールを貼ってさらにバージョンアップ!! 最後に卒業生みんなでロウソクの火を吹き消して、「卒業おめでとう!」これからも、またあそぼうね♥



## 〈学習交流企画〉“西上寛樹さんを囲んで…”

2025年 2月 9日(日) 東彼杵町教育センター研修室

乳幼児の部 10:30~12:30

低学年の部 14:00~16:00

高学年の部 17:30~19:30

|       | ながさき | 佐世保 | 諫早 | 県連 | 合計  |
|-------|------|-----|----|----|-----|
| 乳 幼 児 | 5名   | 5名  | 5名 | 5名 | 20名 |
| 低 学 年 | 9名   | 2名  | 4名 | 5名 | 20名 |
| 高 学 年 | 5名   | 3名  | 5名 | 5名 | 18名 |



※高学年の部は前日の天候不良により翌日順延で実施。

西上寛樹さん▶児童演劇の劇作家、演出家。鹿児島県伊佐市在住。  
シナリオ工房 天邪鬼/元伊佐市地域おこし協力隊。

子ども劇場でやっている活動は、子どもたちにとって、どんな意味・意義があるのだろう。

やっている私たちはその楽しさを知っているけど、知らない人にはどう伝えたらいいだろう。

〈乳幼児の部〉〈低学年の部〉〈高学年の部〉に分かれて、子どもの年齢に応じた、子どもにとっての“観ること・あそぶこと”について座談会形式で実施しました。近くの人と話して、その後みんなでシェアする形で西上さんに言葉を引き出しもらいながら、それぞれ日頃の思いを出し合いたくさん言葉にして話すことができました。



——ながさき子ども劇場参加者の感想より（抜粋）

○「心が折れそうになります……。」私の質問でした。そういう経験ある人結構いるんだな、とみんなで話して共感できてよかったです。さーっと会場に入って、集中して観ている子が多いように感じて、勝手にそう思って比べたり、心配したりしていました。知らない場所・知らない人の中に入っていくこと、何が今から起こるかわからないこと、そういうことに我が子は苦手・敏感なんだと理解はしていました。ドキドキならないように前もってイメージつきやすいような作戦や準備をしたりしてきました。西上さんが、「それって全身のセンサーがちゃんと働いているから、人間として、生き物として本能的に当たり前のこと」と話されていました。逆転発想でした。なんでそれを前向きに受け止めて共感できてなかったのだろうかと。生きていくうえで重要な危機管理能力あってすごいんだよ!! 全身にあるいろんなセンサーがめちゃくちゃ働いて、反応して感じている。そしてその感じたことを声や体や表情で教えてくれていたんだなと思いました。乳幼児期に舞台芸術を観に行くとすると、我が子にとちゃんと観てほしい。一緒に楽しく観たい。その作品から何か刺激がほしいな、、、五感をフルに、、、みたいになってしまっている自分に気づきました。でも得ることはそういうことだけではなくて、本当は、緊張や怖い、心配、嫌だというような感情があるのだけど、「親と一緒にならば」「劇場の仲間と会いたい」、「みんなが一緒にいるなら大丈夫」といった安心できる場になっていき、その中で観ることが大切なんだとわかりました。（乳幼児部・Mさん）

○数日後の劇場の大人とのふりかえり感想を言い合う場面で、「意見を言い合うってこと自体が大切だね、こんなふうにはいろんな意見を言ったり聞いたり出来るのは劇場ならではのかもねー」の一言で、うまくまとまらなくてもやり取りできて嬉しいと感じている自分の気持ちを大事にしよう(していんだ💎)と気持ちが軽くなりました。

西上さんとのお話の中で、「言っぱなしでもいいんで、意見を投げてください」と言われた時、初めは何をどう言っているのか考えすぎたり、質問に対する正解はひとつではないんだけど、的を得た発言が出来るのか?と自分なりの正解を欲しがっていたんですが、私なりにたどり着いた「着地」は「何でもいいから思っている事、感じていることを出し合ってやりとりをすること」でした。安心して誰かの意見を聞いて自分の意見を言える。そういうやり取りがしたいと思っているし、西上さんとのお話の中で実りあるやりとりが皆さんとできてよかったです。楽しかった! それはあそびの中でも、舞台を観ることの中にもあって、つながりたい、受け入れ合いたい、誰かと繋がり合えた時に、5秒だって充実するし楽しい。…西上さんのお話で心が動いて、その場にいた大人たちと感じたこと思っていることを話せて、もやもやしたりすっきりしたり、考えたり、おとなのあそびだったのかもしれない。もしそうだったとしたらみんなとあそべたのしかったです。（低学年部・Sさん）

# 九州沖縄地方子ども劇場連絡会 2025 年度例会企画打合せ会 ～ 豊かな例会づくりのために～

テーマ 舞台芸術の力で子どもをとりまく状況を打ち破る

2025 年 3 月 11 日(火) 10:40:40~17:45

福岡市立博多市民センターホール



## 【全体会】

- ★はじめに（打合せ会の趣旨、2025 企画の特徴）
- ★乳幼児例会「mtoto ムト」を通して  
おおいた子ども劇場 乳幼児部員 小幡悠海さん
- ★高学年部例会企画 県センターの取り組みからみえてきたこと  
子ども劇場福岡県センター子ども舞台芸術部会 副部長 黒石千穂さん
- ★創造団体から  
2024 企画の事前、公演で九州を巡る中で「創造したこと」と「学んだこと」  
民族歌舞団荒馬座 宮河伸行さん

## 【団体・作品打合せ】

※ながさき子ども劇場の 2025 例会企画作品

- ①ミュージカル「バームクーヘンとヒロシマ」（イツフォーリーズ）
- ②人形劇「スイミー」（人形劇団ブーク）
- ③「コミックサイエンスショー」（エディー）
- ④人形劇「カボとピノ」（人形劇団ココソ）※年度違いでオブザーバー参加
- ⑤「イノシシと月」（劇団さんぽ）

## 【参加者感想】

- それぞれの年齢に合わせた取り組みを聞いてよかったです。  
高学年部の合同企画の取り組みでは、作品のテーマを深める活動を続けていく中で積み上げていくことの重みを感じました。すごいです。  
共通の体験をした後に自分で考え、人の考えを知る。素晴らしいです。  
乳幼児の発表では、子育てしている人の気持ちになって活動されてるなと思いました。何より乳幼児作品の一般券が 3000 円(今は 4000 円とか)という報告にびっくりしました。それだけの価値があると思っていますが、(ながさきでは)そこまでの金額はつけていませんでした。  
荒馬座さんの事前がすごく楽しそうで、ワクワクしました。こういうワクワクを持って帰れるのはとても嬉しいです。
- 他劇場の取り組みやその感想を聞けることがあまりないので、くわしく聞けて良かった。実際に話を聞いて、当日までのイメージを広げることができました。
- 乳幼児当事者が主体的に活動し例会に臨んでいる様子がよくわかった。  
「乳幼児部員のつながりが強固なものとなった」ということばに例会が鑑賞だけではない「例会活動」ということを再確認した。  
高学年部合同企画の取り組みではテーマを深めるための活動を続けていくことで子どもたちが変わっていったこと、子どもの声を「楽しい」と思える大人を増やしていくこと、どちらも時間と手間がかかるが今回の報告でその積み重ねを知ることができ自分たちもやっていきたいと思った。  
荒馬座の宮河さんの報告では、たくさんの劇場の事前や事後の様子を映像で見ることができ例会に向けての活動の大切さを改めて感じ参考になる場所が多かった。

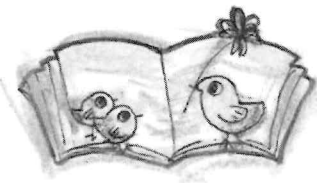
毎年 3 月に福岡で開催される「2025年度例会企画打合せ会」にながさき子ども劇場からは4名で参加してきました。

2025年6月～2026年5月までに実施される例会作品やその創造団体のお話を聞いて、“豊かな例会づくりのために” 交流し考え合おうという場です。

全体会もあって、「子ども主体の例会活動」について九州各地の実践報告もあります。大分の乳幼児部で GEKIDAN AFRICA の「ムト」を観た後に、劇団訪問で子どもたちと一緒に糸島まで行ったことや、福岡県が共同で取り組んでいる高学年例会活動の積み重ねの話がありました。創造団体からは、荒馬座の宮河さんが事前の取り組みについて報告してくださいました。どれも生で聞く話はその人の思いが伝わりとても刺激を受けるものでした。

ながさきは、何といっても今年の大チャレンジ、被爆80周年特別企画「バームクーヘンとヒロシマ」で県内・県外の青年高校生にもよびかけて事前事後の取り組みもやろう!と話しているので、青年のアクラくんも休みを取って一緒に参加してきました。他県からも少数ではありますが青年の参加もあり、限られた時間ではありましたが顔を合わせて交流が出来たようです。この春から少しずつ取り組みを始めますので、みなさんもどうぞ楽しみにしててください!

そのほか、「イノシシと月」「コミックサイエンスショー」「スイミー」と楽しい作品ばかり! 子どもたちと一緒に例会活動をつくっていきたいですね! (事務局)



## ひろせさんの 絵本のとびら

みなさんに出会ってほしい絵本、知ってほしい絵本の話を紹介させていただきます\*\*

今年の春は桜を楽しみましたか？

私は満開の桜も好きですが、若葉が目に見え鮮やかな葉桜も大好きです。これから緑の美しい季節。外で遊ぶのにもちょうどいい気候。戸外での活動を楽しみたいです。

さて、これまでたくさんの絵本を紹介してきました。最初に絵本の紹介をしたのは2017年11月。もう7年以上過ぎたのです。びっくり！ 例会のテーマに合わせたときもあれば、まったく関係のない絵本だったこともあります。いずれにしても広くて深い絵本の世界を楽しんでいただけたら嬉しいです。私が一番好きなのはユーモアたっぷりの笑える絵本。今回もそんな絵本を紹介します。

### ◆『おどります』 高島 純 作 絵本館

高島純さんのナンセンス絵本はもう最高!!  
この絵本に意味を求めてはいけません。  
ただただどうぶつがおどります。かばも、ぶたも、いぬも…。  
「メケメケ フラフラ メケメケ フラフラ」  
どうぶつたちの表情がなんともユニーク。笑わずにはいられません。  
あ、読み聞かせをするなら、読み手は笑わずにまじめ～に読んでください。



### ◆『チーター大セール』 高島 那生 作 絵本館

高島 那生さんの絵本は独特のユーモアがあってお洒落。  
以前紹介した『バナナじけん』も那生さんの作品です。  
とってもひまなチーターのお店。ようやくやってきたお客さんが「くださいな」と言ったのは、なんとチーターの黒い模様。びっくりしたチーター。  
でも、せっかくだから売ること…。さて、いったいどうなっていくのでしょうか？  
思いがけない展開にくすくすと笑ってしまいます。  
こういう肩の力が抜ける絵本、いいなあ～



### ◆『よい子への道』『よい子への道2』 おかべりか 作 福音館書店



これを読めばもれなく「よい子」になれる？  
「よい子」になりたかったらこれを読めばいい？  
絵本というよりもマンガのようなイラストに、「よい子」になるためにはいけないことがかかれています。  
たとえば…  
「学校へもっていったらいけないもの」って？  
「ことばづかいのわるい石」「ひげのはえるくすり」  
「超強力またたび」「じぶんとそっくりなロボット」  
あり得ない答えとそれについているおもしろいイラストが笑いを誘います。

頭がすっかり固くなっている大人こそ読んだらいいかも…？  
こういうおもしろさは言葉では伝えにくいのでぜひ読んでみてね。





### <編集後記>

新年度が始まりました。新一年生、新社会人が初々しいですね。

子ども劇場の2025年度の企画も決まりました。みなさんへ新しい「ごあんない」は届いたでしょうか。例会だけではなく楽しい活動も沢山あります。是非とも「ごあんない」を活用して子ども劇場の楽しさを周りの方に伝えて頂ければと思います

たくさんの仲間でワクワク、ドキドキ楽しみましょう。

